

研究構想シート

学校名

松江市立恵曇小学校

氏名

飯島 湾

A 研究主題 「目標に向かって ねばり強く取り組む子」の育成

B 研究の目的 非認知能力に着目し、「えとも力」をキーワードに次の3つの力を育てていく。

- ①「え」（自信、自己有用感）…自分の考えを表現できる子
- ②「と」（コミュニケーション力）…友達とかかわるよさを感じることができる子
- ③「も」（挑戦する力）…他者と関わりながら自分の学びを捉え、自己調整しながら今後の学習や生活に活かそうとする子

C 子どもの実態

<1年目>

- 言われたことをきちんとしようとする。
- 基礎基本が定着している。
- ペアやグループ学習が上手。
- △自分から考えて動くこと
- △がむしゃらな欲深さ

(指導主事訪問 助言より)

- ・自分の成長を自分で実感できる子どもを育てていくとよい。
- ・そのために、子どもも教職員もアウトプットする力を伸ばすとよい。

<2年目>

- 自己有用感をもてるようになった子が増えた。
- 自分の言葉で伝えようとする子
- 異学年との関わりが増えた子

<3年目>

- 上学年に憧れをもち、次は自分も…と目標をもって頑張ることができること
- 自ら考えること
- △「もっとやってみたい」
- △「知りたい」ともえる心で取り

E 手立て・内容（研究仮説）

- ①身につける力を明確にし、そのための場の工夫をした学習活動を展開すれば「え・と・も力」を高める子が育つだろう。
- ②教師のつなぎ方を工夫すれば、「え・と・も力」を高める子が育つだろう。

→誰もが同じ指導方法ができるように。

- ・ミニ研修（ICTを活用した対話的な学びの方法をさぐる,デジタル教科書の活用実践）
- ・家庭学習の方法、チェックの仕方などの共有。
- ・異学年交流の場を継続する（たてわり班、朝学習など）

F 検証方法

- ・児童、保護者にアンケート協力の依頼（昨年度末に済）
- ・「えとも力UP」のため、児童も教師も「えとも力UP」シートを作成
- ・QUアンケート、キャリアパスポートより「えとも力」に着目して集計

G 研究計画

3年次（R6年度）

- ・合同学習を意図的に組む。（年間）
- ・研究委員会にてミニ研修を計画的に行い、授業改善につなげる。（年間）
- ・えとも力UPシートの共有（夏休み）
- ・職員研修・指導案検討（夏休み）
- ・授業実践（2学期）
- ・実践の共有（3学期）
- ・アンケート、QU集計（3学期）

D めざす子どもの姿

- 1年目 自尊感情が高まる子
- 2年目 友達とかかわる子
かかわるよさを感じる子
- 3年目 自分ごととしてかかわる子
(現在)

